

競 技 注 意 事 項

1. 規則について

本大会は2015年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場使用上の注意

- (1) 競技場は全天候舗装である。なお、スパイクピンは11本以内で長さは9mm以下とする。ただし、走高跳およびやり投の場合は12mm以下とする。
- (2) 観戦はスタンドで行い、大会本部付近や競技場内には立ち入らないこと。なお、集団応援はバックスタンドのみとする。
- (3) 許可を得ていないカメラやビデオなどでの撮影は禁止とする。学生については原則として所属大学の分かる服装であれば撮影禁止区域以外での撮影を認める。学生以外での撮影を希望する場合はインフォメーションセンターへ申し出を行い、撮影許可証着用し撮影すること。ただし、審判員が不審・迷惑行為と判断した場合、撮影データの開示を求める場合があるので、その際は該当審判員に従うこと。
- (4) 練習については岐阜メモリアルセンター長良川競技場内の雨天走路及び補助競技場(1周400m、6レーン。直線のみ8レーン)を使用すること。それ以外での練習は他の選手、一般の方の迷惑にならないように十分注意すること。
大会前日の練習は6月4日(木)14時より17時まで行うことができる。ただし、投擲練習は行ってはならない。本大会では、投擲種目の招集時間を通例の競技会よりも早めに設定し、競技開始前に練習時間を確保することで対応する。受付等は特に設けないが、練習における怪我等の責任は一切負わないものとする。
- (5) 補助競技場内・芝生広場での投擲練習は禁止とする。
- (6) サンサンデッキ下のジョギング等の練習行為を禁止とする。
- (7) ゴミ袋を学校受付の際に配布する。大会期間中、競技会場、その他関連施設を使用の際は、清掃を徹底して行い、ゴミは各大学が責任を持って持ち帰ること。
- (8) 競技場内には様々な場所にコンセントがあるが、大学側は決して使用してはならない。
- (9) 待機場所にガムテープ等を貼ることを禁止する。また、大会期間中、大学の荷物は置いておくことを認めるが、盗難、破損、紛失等の責任を当連盟は一切負わない。
- (10) 各大学待機場所にシートやテント類を固定するためにテープ類を使用する場合は、布製テープのみに限定し、その他のテープ類(紙製のガムテープ等)の使用は床・壁の損傷や変色を防ぐため禁止とする。
- (11) メインスタンド下の雨天走路の場所取りは禁止とする。
- (12) 更衣は正面玄関入って左手、雨天走路付近にある更衣室を使用すること。更衣室内での場所取りは禁止する。

3. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは平成27年度各地区学連指定の登録ナンバーカードを使用すること。2枚を胸部と背部に折り曲げたりせずに確実につけること。ただし、跳躍種目の場合はどちらか一方につければよい。
- (2) トラック競技の場合は腰ナンバーカードをつける。腰ナンバーカードは招集所で受け取り、レース終了後フィニッシュ付近で係員に返却すること。
一部、長距離種目のみ両腰に腰ナンバーカードをつけること。
- (3) 本大会は日本陸連「競技会における広告および展示物に関する規程」4.1.3.7を適応し、違反する場合は注意を行う。

4. 招集について

- (1) 競技者招集所はメインスタンド北側の用器具庫前（100mスタート付近）に設ける。
- (2) 招集時間は下表の通りとする。

【トラック種目】

予 選						準決勝・決勝	
100m・200m 100mH・110mH			400m・800m・1500m・400mH 4×100mR・4×400mR			全てのトラック種目	
組	点呼時間	移 動	組	点呼時間	移 動	点呼時間	移 動
1～3	競技開始 40 分前	競技開始 25 分前	1～3	競技開始 40 分前	競技開始 25 分前	競技開始 40 分前	競技開始 25 分前
4～6	競技開始 30 分前	競技開始 15 分前	4～6	競技開始 25 分前	競技開始 10 分前	—	—
7～10	競技開始 20 分前	競技開始 5 分前	7～10	競技開始 10 分前	競技開始 5 分後	—	—

【フィールド種目】

棒高跳		投擲種目		他のフィールド競技	
点呼開始	移 動	点呼時間	移 動	点呼開始	移 動
競技開始 100 分前	競技開始 80 分前	競技開始 100 分前	競技開始 80 分前	競技開始 60 分前	競技開始 40 分前

- (3) 代理人による最終点呼は認めない。ただし、競技者が他の種目に出場中の場合、代理人は該当競技者が競技中である旨を必ず競技者係に申し出ること。
- (4) リレーオーダー用紙は主催者が用意し、事前に配布したものを使用する。リレー種目に出場するチームは、オーダーの変更の有無にかかわらずその都度オーダー用紙（招集所にて配布）に記入して、第1組目の招集開始1時間前までに競技者係に提出すること。（メンバーについては「競技規則第170条」を参照のこと）
- (5) 競技者は、招集時に配布される荷物袋を衣類・バッグ等の管理に使用することができる。荷物袋は配布後に「種目、ナンバー、大学名、名前」を記入すること。荷物袋は各大学、選手一名につき出場種目分しか配布しないので準決勝・決勝に進んだ者は紛失しないよう注意すること。
- (6) 競技者が競技場に商標のついた衣類、バッグ等を持ち込む場合は、2015年度日本陸上競技連盟競技規則「競技会における広告および展示物に関する規定」の項を遵守する。基準をこえる商標については必ずガムテープ等を貼って隠すこと。
- (7) オープン種目の混成競技は各日最初の種目の30分前に招集を行い、以後の招集は行わない。

5. 棄権について

- (1) 棄権については、大会の権威と運営の円滑を期するため極力避けること。
- (2) 事前に棄権する場合は東海学連の HP に掲載されている事前棄権届に必要な事項を記入の上、6月4日（木）12時までに東海学連宛（tgrr@themis.ocn.ne.jp）にメールにて提出すること。以降は代表者会議で棄権者を受け付け、代表者会議終了後は当日棄権扱いとする。
- (3) 当日やむを得ず棄権する場合はインフォメーションセンターにて棄権届を受け取り、必要事項を記入の上、棄権料500円とともにインフォメーションセンターに提出し大会総務の承認を得ること。
- (4) 棄権届を提出せずに棄権した場合は、その競技者の本大会での他種目への出場を認めない。また、招集に遅れた場合・リレーオーダー用紙未提出の場合もこれに準ずるので十分注意すること。

6. 用器具について

競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポール、やりは、個人

所有のものを使用することができる。各々検査を受け、許可されたものでなければ使用できない。なお、検定を受けて許可を得たやりについては、主催者借上げの共有やりとする。
なお、やりの検定は招集完了1時間前にゴール付近の用器具庫にて、ポールは跳躍ピットにて行う。

7. 競技について

- (1) トラック競技の計時は電気計時（1／100秒）を用いて行う。
- (2) 以下の種目については、スタート後下記時間を経過して残り1周に達していない場合、または競技運営に支障が出ると審判長が判断した場合、審判長の指示により競技を中止させることがある。
男子5000m…スタート後17分、男子10000m…スタート後33分
女子5000m…スタート後19分、女子10000m…スタート後39分
男子10000mW…スタート後48分、女子10000mW…スタート後57分
- (3) 跳躍競技（高さで順位を決定する競技）のバーの上げ方は下記の通りとする。
男子走高跳（1m90/2m00/2m10）1m90－1m95－2m00－2m05－2m08－2m11（以後3cmずつ）
女子走高跳（1m40/1m55/1m70）1m50－1m55－1m60－1m65－1m70－1m75（以後3cmずつ）
男子棒高跳（4m30/4m80/5m20）4m40－4m60－4m80－4m90（以後10cmずつ）
女子棒高跳（2m50/3m00/3m50）2m60－2m80－3m00－3m20（以後10cmずつ）
※（ ）内は練習の高さ
※第1位決定試技の際のバーの上げ下げは、走高跳は±2cm、棒高跳は±5cmとする。
※第1位が決まった後にバーを上げる場合、当事者は該当審判員または審判長に希望の高さを申し出てから高さを決定する。
※天候等に応じて審判長の判断で開始の高さを変更する場合がある。
※天候に応じて上記のバーの上げ方を該当審判員または、審判長の判断で変更する場合がある。
※オープンの十種競技・七種競技のバーの上げ方については競技運営、天候などを考慮した上で該当審判員の判断により決定する。
- (4) 三段跳の踏切位置について
三段跳の踏切位置は男子13m、女子10mとする。
三段跳の踏切位置は該当審判員または審判長の判断で変更する場合がある。
- (5) 給水について
5000m、10000mおよび競歩の給水については天候に応じて水とスポンジを用意する。
場所はバックストレート側に設置する。給水後のコップ、スポンジについて他の競技者の妨害になるような捨て方は厳禁とする。
- (6) 競技開始前の投てき練習に関しては、投てき主任審判員の指示に従うこと。
- (7) 競技規則第162条7[国際]の適用により、不正スタートをした競技者は失格とする。競技規則第162条5[国内]は適用しない。混成競技においては2回目以降に不正スタートした競技者を全て失格とする。スタートの合図は英語（「On your marks」、「Set」）にて行う。

8. オープン種目について

男子十種競技・女子七種競技はオープン種目として扱い、対校得点には加算しない。

9. 表彰および対校得点、順位決定について

- (1) 各種目第3位までに入賞した競技者には表彰を行うため、競技終了後表彰係の指示に従うこと。その際の服装は、上は各大学のユニフォーム、下は各大学のジャージとする。※当日の天候等によってはこの通りではない。
- (2) 対校得点は1位…8点、2位…7点、3位…6点、4位…5点、5位…4点、6位…3点、7位…2点、8位…1点の8点制とする。
- (3) 総合得点が同点の場合は、優勝種目の多い大学を上位とする。優勝種目が同数の場合は2位種目、3位種目～8位種目の各々を比較し、より多い大学を上位とする。

- (4) 各種目4～8位までに入賞した選手は、正式発表30分以降にインフォメーションセンターで賞状を受け取ること。

10. 抗議と上訴について

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者あるいはチームの監督が正式結果発表後（決勝の場合は30分以内、予選と準決は15分以内）にインフォメーションセンターでその旨を伝えた上、口頭で審判長になされなければならない。審判長の裁定を不服とし、さらに抗議をする場合は、上訴申立書と預託金10,000円を添えて上訴することができる。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

11. 緊急看護について

- (1) 競技中の事故による身体の故障については救護室（エントランスホール南側）において応急処置を行うが、その後の治療は本人の負担とする。
- (2) 事故の結果について、本連盟は一切責任を負わないものとする。

12. 通行禁止区域について

競技者は、エントランスホールよりフィニッシュ側の内部通路・トラック側本部前通路は通行禁止とする。何らかの理由で通行しなければならないときは、インフォメーションセンターを通すこと。

13. その他

(1) トレーナーについて

競技場玄関前のトレーナースペースでは、事前に申請をした大学がトレーナー活動を行うことができる。ただし、トレーナーは出場者全員を対象に活動を行うこと。

- (2) 競技会において競技者は助力とみなされるビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD・MDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話、スマートフォン、もしくはそれに類似するものを、競技場内で使用することはおろか、所持することも認められない。勧告を受け入れられない場合は失格となる。なお、その他競技者に対する助力については競技規則第144条を適用する。

- (3) 競技中の選手に対する助言は競技規則第144条2項に順ずる。またフィールド競技に関しては該当審判員が許可を与えた上でコーチ席にアドバイスを聞きに行くことができる。審判員の指示に従わない場合は選手・コーチに警告を与え、さらに続いた場合は主催者側で協議し対処する。

（競技規則第144条4項参照）

- (4) 自然災害や競技運営上支障をきたす理由により、競技日程を変更する場合がある。

(5) 盗難・紛失について

盗難・紛失について主催者で受領した物品については大会本部で一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。大会終了後は本連盟事務所に3ヶ月間保管し、申し出のないものについては処分する。本連盟までメールにて問い合わせること。

- (6) 大学受付は6月4日（木）14時より17時まで行い、これ以後は大会期間中インフォメーションセンターにて終日受付を行う。

(7) 競技場の開門時間および閉門時間について（予定）

	開 門	閉 門
第1日目【6月5日（金）】	8：00	19：30
第2日目【6月6日（土）】	7：30	19：30
第3日目【6月7日（日）】	7：30	17：00

※開・閉門時間は厳守のこと。違反した場合は、厳重に処罰する。

- (8) 駐車場は、競技場南東、都ホテル隣の有料駐車場を利用すること。近辺での路上駐車は厳禁とする。
- (9) 横断幕・のぼりは、テープ類を使用せず、紐などで固定すること。競技場の壁にテープなどで貼り付けないこと。設置は、バックスタンドのみとし、中段（手すり）より上部に掲出すること。

- (10) ドーピングコントロールテストはJADA及びJAAFの規則に従い実施する。ドーピングテストを指示された競技者は競技役員の指示に従ってテストを受けなければならない。なお、身分証明のため、選手は全員学生証・運転免許証等、本人確認ができるものを持参すること。
- (11) 以上の事柄および本大会の規則については、大会役員の協議が最終決定権を持ち、これは変更になる場合があるので、アナウンスや掲示板に注意すること。また、学生競技者としてのマナーに逸脱するような行為があった場合は、その学生が所属する大学の以後の競技を中止させ、処罰を与える。その他、不明な点はインフォメーションセンターに問い合わせること。